

# 熊楠ワークス

/ C / O / N / T / E / N / T / S /

vol  
28

- 第16回南方熊楠賞授賞式 …1面  
 南方熊楠賞受賞記念講演 …2面  
 「熊楠」生物覚え書③ 土永知子 …10面  
 南方熊楠と温泉 安田忠典 …11面  
 熊楠ゆかりの地を訪ねる 中瀬喜陽 …13面

## むかしの人はエライ！

「わかやま絵本の会」の20周年記念として出しはじめた『おしえてわかやま100シリーズ』ですが、1冊目は和歌山県の妖怪を100集めたもので、2冊目は方言、3冊目は民話の方言語りを100紹介したものです。そして4冊目が、南方熊楠の名言を100、顕彰館の館長中瀬喜陽先生に編集していただきました。熊楠の人生観や自然観が素直に感じられて、とても味わい深い本になりました。この時代の人達はえらかった！と感動するのは、わたしだけではないでしょう。

9月1日発行の『おがわたくじ』も、熊楠より3つ年下で、田辺の法輪寺の近くで生まれています。熊楠が和歌山中学を出た年に、入れちがいに和申に入りました。地質学者となりますが、湯川秀樹の父親です。琢治も秀樹も養子なので姓が違いますが、小川家も湯川家も、もとは和歌山の出身です。

熊楠の実家はお金持ちながら質素儉約で、小さい時は本など買ってもらえませんでした。琢治もまた、浜口梧陵の開いた耐久舎や兄の勤める県庁などで本を借りて読んでいます。また二人とも、びっくりする程よく歩いています。モノのあふれる時代、この頃の人たちの生きざまに触れると、自分の生活を今一度見直さねばと感ずることしきりです。



絵・エッセイ／  
 松下千恵(わかやま絵本の会代表)  
 絵は絵本「南方熊楠」から